

東日本大震災の記録

— 後世に残し伝えるために —

耳を切り裂くような騒音とともに、電柱をなぎ倒し、家や自動車をのみ込みながら土煙を上げて迫りくる津波。「未曾有の災害」「想定外の惨事」……。どのような言葉をもってしても言い尽くせない現実が目の前に広がっていた。

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という世界最大級の地震が発生。この地震が引き起こした津波は、わたしたちの町に壊滅的な被害をもたらしました。

あれからもうすぐ半年。がれきの撤去が進み、町の全容が変わりつつある今、二度と津波による犠牲者を出さない町づくりのため、復興に向け力を合わせて取り組まなければなりません。

今号では、あの日何が起きたのかを全町民に知っていただき、ありのままを後世に残し伝えるため、東日本大震災の被害の状況などをお知らせします。(特集21頁まで)

地震発生から24時間

【3月11日】

- 14時46分 三陸沖(北緯38度1分、東経142度9分)を震源とする、マグニチュード9.0の地震発生。本町では震度5弱を観測。直ちに、山田町災害対策本部を設置
- 14時49分 大津波警報発表、全町に避難指示
- 15時17分 船越地区で津波が水門を破る
- 15時22分 山田湾湾口から4〜5層の波を確認
- 15時24分 山田地区で津波が防潮堤を越える
- 15時25分 田の浜と織立で火災発生を確認
- 15時30分 八幡町と長崎、大沢新開地区で火災発生を確認
- 15時39分 豊間根支部へ炊き出しを依頼
- 16時55分 航空自衛隊に消火要請
- 17時28分 消防団全部車両消火出動要請
- 20時25分 山田地区への最初の炊き出しが荒川区より到着
- 21時39分 自衛隊より物資提供
- 23時18分 道路復旧のため町内業者の重機が間木戸林道で待機

【3月12日】

- 2時23分 役場周辺へ火災が延焼、中央公民館などの避難者を豊間根地区へ移動開始
- 6時31分 境田地区で山林火災
- 8時6分 自衛隊ヘリコプターによる空中からの消火開始
- 11時45分 山田道路・船越・柳沢間復旧
- 14時41分 旧タブの木荘から山田高校へのヘリコプターによる避難者搬送開始
- 15時17分 大沢・柳沢間の国道復旧

家や車をのみ込みながらせまり来る津波(3月11日午後3時25分ごろ・役場屋上より撮影)